

【特集】

『信大 国語教育』 総目次

創刊号：1991年10月

創刊の辞（滝澤貞夫）

【退官記念講義記録】国語教育の基本的課題—信州学校ことばをめぐって—（瀬戸仁）

「国語」と国語教育—明治中期を中心として—（京極興一）

とりかへばや物語の研究—作者の男・女観をめぐって—（西郷みづ子）

福沢諭吉の四字漢語について（酒井純子）

李白と酒（杉下一成）

第2号：1992年10月

国語教科構造と学習者研究の位相（山下宏）

文法法則の発見を促す文法指導—中学二年「体言と用言」の指導を通して—（栗林正幸）

「落窪物語」の現実性（上條かおり）

書写教育における一考察（富岡佳子）

国語科における読書指導法の研究—「読み聞かせ」を中心に—（平澤真美）

第3号：1993年10月

【退官記念講義記録】明治「国語」管見—「人民」「国民」「臣民」をめぐって—（京極興一）

平安時代の戸隠史の文献（滝澤貞夫）

宮島詠士の書法形成について（寺尾賢明）

小学校における書写指導研究（橋詰辰男）

語彙を広げるための描写指導法—『樺』の描写調査を通して—（本山人育）

連体修飾語における「の」と「が」の使い分けについて（李経普）

白井吉見における国語教育観の研究（大橋亮子）

未明童話教材論研究（越野智夫）

平家物語の研究—諏訪市立図書館蔵「平家物語」について—（村上誌子）

第4号：1994年10月

類義語「一度に」「一斉に」「一挙に」「一気に」について（溝江保文・梅原恭則）

「日暮硯の研究」の濫觴と概略（恩田恒久）

詩歌学習指導法の研究—直感的総合的詩歌学習指導法を中心に—（竹田雅幸）

「福沢諭吉の用語」—片仮名表記を手掛かりとして—（池上和弘）

『列女伝』の研究（浅川房代）

物語教材の時間—小学一年生教科書（光村図書・平成三年検定）の場合—（斎藤正一）

第5号：1996年2月

市澤静山作品選（市澤静山）

横書き書字指導の研究（広川芳守）

氷室冴子『なんて素敵にジャパネスク』論（斎藤正一）

中学校における漢文教育の目的と意義（山戸俊彦）

彌勒としての武則天—『大雲經疏』の考察—(坪田昭子)  
読むことの指導(清水佐知子)  
古典に現れた月の研究—平安時代の冬の月—(佐藤祐子)

#### 第6号：1996年10月

言葉の教育と言葉の指し示すものの教育(堀井謙一)  
説明的文学指導に関する一考察—学習者が主体的に説明的文章を読むことができるための「書き出し—結び」への着目—(山口真一)  
中国人に分かり易い日本語の慣用句の記述について(張淑華)  
『とはずがたり』の研究—『夢』の記事について—(樋口夕子)  
島木赤彦の国語教育論研究(花岡美紀子)  
物語の歴史の変容—金太郎の場合—(山森邦之)

#### 第7号：1997年11月

日本語教育から国語教育の学ぶべきもの—中華人民共和国における日本語教育の経験から—(益地憲一)  
書写教育における筆順指導の研究(小池勲)  
語り手の在りように関する一考察—『三人妻』における助動詞「けり」をめぐる—(曾根原奈美)  
時を表わす副詞—「すぐ」の考察—(宮崎涼子)  
茨城県東南部の方言について(会野由紀恵)  
左利きの児童・生徒に対する書写指導について(塩苺有紀)  
素材としての児童文学の研究—神沢利子の作品を中心に—(宮川江里)

#### 第8号：1999年2月

「あいかわらず」の用法—コンテキストとの関わりを中心に—(徳井厚子)  
選択国語「国語学講座」の実践から(酒井秀樹)  
信濃教育会編『国語』教科書の研究(小口政英)  
「八面大王伝説」における流布の問題(細川恒)  
語彙指導の研究—文学教材における修飾語を中心に—(若尾伸子)  
学校文法構造論の改善に向けて—「文の組み立て」の扱いを中心に—(松崎史周)  
平成九年度卒業論文・修士論文題目

#### 第9号：2000年3月(山下宏先生退官記念号)

【退官記念講演記録】ターニングポイント—時代と教育の課題—(山下宏)  
山下宏先生 略歴  
山下先生に学んだこと・「個々の学習意識を大切に」(池田稔幸)  
『八大伝』と「二十村の鬪牛」(五十嵐貞治)  
ワープロ作文ノート—ワープロの漢字変換機能と表計算ソフト「IF」命令とを併用した仮名遣い  
矯正指導の試み(小学5年)—(熊谷哲郎)  
民話に対する児童・生徒の意識の実態と一考察—長野県の民話を中心に—(滝澤晃)  
『延喜御集』についての研究(小林美陽)  
小学校国語教科書における「語句の組み立て」の問題点—複合語に関する記述について—(山本清隆)

意見文指導の研究—思考力育成の観点から— (島田綾子)

平成十年度卒業論文・修士論文題目

### 第10号：2000年11月 (滝澤貞夫先生退官記念号)

【退官記念講演録】古典の季節の歌 (滝澤貞夫)

滝澤貞夫先生 略歴

素性集の系統分類 (酒井修)

長野県における動詞「くれる」の方言的使用—「水くれ当番」は方言か— (鈴木涼子)

小学校におけるコミュニケーションの機能を生かした作文指導の研究 (西澤真佐雄)

地域学習としての方言 (藤森裕治)

『虞美人草』の語り—語りの意見陳述性に関して— (細井康子)

中学校国語教科書における「文の組み立て」の扱い—文の成分の立て方と構文分析について— (松崎史周)

平成十一年度卒業論文・修士論文題目

### 第11号：2001年11月

読点の打ち方—国語教師の為に— (梅原恭則)

中学校国語教室への—提言—学力問題をめぐって— (細川恒)

小学校における文学教材学習指導の研究—個の「読み」の傾向を生かす課題学習— (脇坂幸光)

説明的文章教材の学習指導法に関する—考察—書くことを位置づけた授業の構想と実践— (小口裕康)

小学校における語彙指導の方法論的研究—学習国語辞典との関わりについて— (貴舟良子)

### 第12号：2002年11月

『河海抄』と中世の歴史認識 (吉森佳奈子)

高等学校国語科における論理的表現力育成のための実践—物事を多面的に把握する能力の獲得とパネル・ディスカッション— (河崎直茂)

蘭亭序研究—蘭亭序の用筆法、結構法— (熊谷憲)

生活に根ざした書写指導の研究—教科の枠を越えて— (胡桃澤宣光)

「国語科ノート指導研究」より ノートの機能と指導の意義 (宮下真弓)

中学校における対話学習指導の研究—「倫理性」の育成を中心に— (柳町彰)

中学校国語教科書における「単語の種類 (品詞)」の扱い (松崎史周)

平成十三年度卒業論文・修士論文題目

### 第13号：2004年2月

齋藤喜門研究—「ひとり学び」を中心に— (益地憲一)

『北越雪譜』の研究—馬琴が『北越雪譜』を出版できなかった事情— (五十嵐貞治)

教職に就いて半年を経たの所感—ねらいと評価が一体化した授業の組み立てについて— (佐々木悠介)

絵カード、文字カードを使った発表学習についての—考察—「不思議な無人島」(4学年)の実践を例にして— (岡島昌幸)

小学校現場での実践から—日常生活に生きる文字の力を育む、書写学習のあり方— (河原節子)

初対面二者の会話における質問—応答形式についての—考察 (松崎史周)

#### 第14号：2004年11月

文学的素養ということ（堀井謙一）

外国人児童の学習言語習得期における実践指導—「スイミー」を題材として—（皆川麻緒・藪下保子）

齋藤喜門が唱える「ひとり学び」について—「ひとり学び」を育成する国語科指導のあり方—（小山正博）

語りの順序と出来事の順序～小学校教科書の物語作品における考察～（武重智子）

映像メディア（地図）を用いた学習指導の開発（栗山嘉章）

#### 第15号：2005年11月

国語辞典の意味記述に見られる問題点について—語の意味と句の意味—（山本清隆）

新聞コラム・テレビ番組を用いた要約の指導（松崎史周）

教材の文構造分析を基にした「読み」の指導のあり方—「思考ユニット」による教材分析・指導・評価—（西原秀明）

説明的文章の「創造的な読み」の研究（藤木拓道）

対比の構造に着目して戦争文学を読む～戦争文学教材の史的概観と新しい学習指導について～（福田将太）

読みの授業に生かす書くこと（駒村亜弥）

古典に興味・関心を持たせる授業～補助教材の有効活用法～（新保友梨）

—自著紹介—「正木不如丘文学への誘（いざな）い」（児平美和）

信州大学教育学部言語教育講座国語教育専攻 卒業論文題目（平成16年度）

信州大学大学院教育学研究科国語教育専修 修士論文題目（平成16年度）

信州大学国語教育学会会則

『信大国語教育』投稿規定

#### 第16号：2006年11月

高等学校芸術科書道における「漢字仮名交じりの書」指導の研究（荻原梓）

言語活動主義的国語教育の比較研究（小田野紘子）

学校文法における副詞の下位分類について—中・高国語教科書の連携を中心として—（百地京美）

現代における送り仮名表記の実態（戸塚拓也）

「封」か「對」か—萬葉集の本文校訂—（西一夫）

視聴覚教材を効果的に用いる国語科授業（大石枝里）

信州大学教育学部言語教育講座国語教育専攻卒業論文題目（平成17年度）

信州大学大学院教育学研究科国語教育専修修士論文題目（平成17年度）

信州大学国語教育学会会則

『信大国語教育』投稿規定

#### 第17号：2007年11月（市澤要三先生・堀井謙一先生退官記念号）

退官によせて（市澤要三）

筋には味がある（堀井謙一）

市澤先生の思い出～ご着任のころ～（押木秀樹）

堀井先生の思い出～堀井先生に支えていただいた三年間～（野口亜弥）  
対外日本文学紹介の一齣（山本亮介）  
古典作品における動物の対象性（高野恵・西一夫）  
「山月記」（細井康子）  
中学校における説明的文章指導の研究（鎌倉琢磨）  
小学校低学年児童における直喩の〈比喻半別〉についての実態と考察（日下弘賢）  
平成18年度卒業論文題目・修士論文題目  
信州大学国語教育学会会則

#### 第18号：2008年11月

小集団討論場面の相互行為にみる「司会者」の役割化（徳井厚子）  
2006年度 総合学習「ことばのプロの技を学ぶ」の報告（松崎史周）  
Reciprocal Teaching を用いた読みの学習の研究（小田野紘子）  
小学校国語科における読みの授業の談話分析—教師のあいづちと復唱がもたらす子どもの学びへの教育効果について—（稲玉恵美）  
外国籍児童に対する教科学習支援と発話による自己表現の研究—ある児童の観察を中心に—（平林照世）  
平成19年度卒業論文題目・修士論文題目  
信州大学国語教育学会会則

#### 第19号：2009年11月

「大造じいさんとガン」における「語り」と「視点」（藤森裕治）  
日本語とモンゴル語の格関係の対照（エルデネビレグ・ウヤンガ）  
複合動詞の日中対照研究と中国人学習者に対する教授法への課題—日本語学習者への意識・習得調査をもとに—（郭恬）  
高等学校文学教材における主体的な読みの実証的研究—「わからない」を切り口として—（田中美有詩）  
物語の読みにおける擬人化の読者反応に関する研究（徳武光枝）  
標識類の英語表記（福島陵）  
平成20年度卒業論文題目・修士論文題目  
信州大学国語教育学会会則

#### 第20号：2010年11月（梅原恭則先生退職記念号）

U先生のこと（梅原恭則）  
梅原恭則先生へ感謝を込めて（松崎史周）

##### 【研究論文】

『無名草子』の女性論—伊勢の御息所を中心に—（古門香）  
王朝和歌における恋歌の表現—歌語「涙川」の表現とその展開—（後藤愛）  
中学校教授要目（1902(明治35)年）の制定に伴う「国文学史」観の確立—明治20年代と30年代の「国文学史」テキストの比較から—（八木雄一郎）  
詩歌教材における学習者の読みの研究—立原道造「のちのおもひに」をもとにして—（芝田怜菜）  
各種連用修飾成分の出現順位—小学校国語教科書の分析事例から—（百瀬美里）

第 21 号：2011 年 11 月

【研究論文】

書くことの果てに— 村上春樹初期作品の胎動（國分恭太郎）

『源氏物語』野分巻の垣間見再考—垣間見る夕霧の行動と心情から見える新たな役割—（植本めぐみ）

売買時のコミュニケーションの地域的特色について：長野と京都の比較を通して（岩男考哲）

「言語文化」を核とした国語科学習指導の研究（白田悦子）

中学校国語教科書における「定番教材」の比較研究—（語り）と「メッセージ性」の共通点・系統性に着目して—（小林厚志）

平成 22 年度卒業論文題目・修士論文題目

信州大学国語教育学会会則

『信大國語教育』投稿規定

第 22 号：2013 年 3 月

【研究論文】

書儀・尺牘表現の受容—平安初期漢文書簡の表現を中心に—（西一夫）

死にゆく女の美しさ—『源氏物語』が創造する新たな世界—（小池美貴）

「告白」が示す希望のきざし—芥川龍之介『河童』における可能性（坂本明日香）

中国における年少者日本語教育の現状と授業分析—東北部の蒙古族学校の事例を中心に—（王曉慧）

音読の指導観に関する—考察—戦後国語科教育における音読・朗読・群読の位置づけから（龍野直人）

連体修飾表現の接続形式トノとその周辺（登内恭平）

児童が意欲的に取り組むことのできる書写授業—書写の授業と意識の関係から—（米山幸恵）

平成 23 年度卒業論文題目・修士論文題目

信州大学国語教育学会会則

『信大國語教育』投稿規定

第 23 号：2014 年 3 月

【研究論文】

山猫たちの経営戦略—宮澤賢治「注文の多い料理店」論（友田義行）

授業から見えてくること—文学的文章における学習問題・板書・発問から（宮島卓朗）

【研究ノート】

漢詩の教材研究—対比の視点から杜甫「絶句」を読む（西一夫）

【研究論文】

社会人にとって敬語とは何か—マナーブックと学校教育の比較から—（上田あき帆）

中学校国語教科書の接続詞使用に関する—考察—学校外で出会う様々なテキストとの比較から—（林愛美）

読書感想文の深層（村松史織）

平成 24 年度卒業論文題目・修士論文題目

信州大学国語教育学会第23回大会報告

信州大学国語教育学会会則

『信大国語教育』投稿規定

## 第24号：2014年11月

### 【研究論文】

王朝の月影—日本人の美意識—（塚原健太郎）

宮崎駿の環境映画—トロが教えてくれること（馬場綾菜）

### 【研究ノート】

『萬葉集』の教材化—中学教科書の場合—（西一夫）

### 【研究論文】

左手硬筆書写における用紙の置き方と字形の関係についての試論—書写教育の観点から—  
（小林比出代）

国語科における「他者」の位相と機能—物語教材が生み出す「他者」との「対話」—（青木  
友佳里）

助詞「ニ」による「言いさし文」—書き言葉における「言いさし文」を中心に—（北見聖）

書きことばにおける意味伝達の可能—Paralanguage機能による味覚表現—（八木英理子）

別れからの学び—動物飼育学級における子どもの言語生活誌—（山崎花奈子）

### 【研究ノート】

国語教科書における「表現の工夫」に関する覚書—直喩表現を対象に—（岩男孝哲）

平成25年度卒業論文題目・修士論文題目

信州大学国語教育学会会則

『信大国語教育』投稿規定

## 第25号：2015年11月

### 【研究論文】

「読み取る」こと、そして伝えること（黒澤弘光）

「爨竈子碑を臨書する」—書の分析的鑑賞を通して—（武居ちひろ）

姫野カオルコ『受難』論—フランチェス子の受難が示す恋愛のあり方—（青木紅瑠美）

### 【研究ノート】

藩文庫の漢籍資料瞥見（西一夫）

### 【研究論文】

物語から心へ吹く風—小学校国語教科書における語彙調査に基づいて—（加藤優）

書籍調査から見る「美しい日本語」（小林咲子）

人格形成としての言語活動—イギリスの初等学校における事例研究を通して—（藤森裕治）

子どもが日記を書くことの意味—小学校5年生の日記の分析から—（久保田真帆）

### 【研究ノート】

ワークショップ「教育学部に存在する頌徳碑の拓本採り」—平成26年度信州アカデミア（信  
大COC事業）地域志向支援事業より—（小林比出代）

国語教科書に現れる直喩表現に関する調査報告（岩男孝哲）

平成26年度卒業論文題目・修士論文題目

信州大学国語教育学会会則

『信大国語教育』投稿規定

第26号：2016年11月

【研究論文】

泰山刻石フォント—サンプル「米」「南」「爾」「譽」の制作—（水越優）  
多和田葉子『雲をつかむ話』論—相互テキスト性と言葉遊びの関連—（阿部佳南子）

【研究ノート】

『万葉集』の教材本文—研究成果と教材化—（西一夫）

【研究論文】

ツイッターに用いられる「一み」の用法（依田綾乃）  
月が照らす『竹取物語』の可能性—「月」に着目した『竹取物語』の指導—（朝川明日香）  
小学校就学前後におけるリテラシーの成長過程とその要因—ある子供の学習の内実から—（今井優花）

「続き物語」の交流がもたらす文学的文章の読みの変容—『星の花が降るころに』を素材として—（八木雄一郎）

【研究ノート】

日本人大学生のメディアに関する利用調査（劉非・徳井厚子）  
「龍溪硯」の探求と制作に向けて—郷土における文化遺産の継承を見据えた実践研究—（小林比出代）

平成27年度卒業論文題目・修士論文題目

信州大学国語教育学会会則

『信大国語教育』投稿規定

第25回大会報告

第27号：2017年11月

【研究論文】

教材としての古今集歌—韻文教材の価値—（西一夫）  
馥郁たるみそひと文字の世界—王朝和歌の「かをる」「にほふ」を中心に—（北沢真優）  
小津安二郎『秋刀魚の味』論—「旬」を思うとき—（北澤あかり）  
映画監督・勅使河原宏論のための基層的研究—草月会所蔵フィルム調査の意義—（友田義行）  
互いの考えを比べながら話し合う力を高める指導の在り方—新学習指導要領の動向の中における本実践の位置づけ—（鎌倉大和）  
小学校「書くこと」の学習を支える文法の知識・技能（松崎史周）  
大岡信『言葉の力』教材論—随筆教材とは何か—（仙波歩）  
特別支援学級における書字指導の一事例—指書きによる硬筆書字の字形改善を目指して—（小林美苗）

【研究ノート】

書道と染色の協働表現活動—平成28年度信州大学教育学部卒業書道展での研究制作より—（小林比出代）

大学と連携した毛筆書写指導—書道研究室の学生の姿を学習材として—（白井敬）

【短信】

栗本祥平／小林厚志／中村祐貴



平成 28 年度卒業論文題目・修士論文題目  
信州大学国語教育学会会則  
『信大國語教育』投稿規定  
信州大学国語教育学会大会第 26 回大会報告

## 第 28 号 : 2018 年 11 月

### 【研究論文】

私製 国語科の授業——人の国語科教師が考えること——(堀田悟史)  
芥川龍之介「蜜柑」試論—メタフィクションへの接近—(友田義行)  
夏目漱石・良寛・王羲之をめぐる「則天去私」の精神(荒井優)  
公立高校入試(国語)における文法問題の傾向(松崎史周)  
俵万智の短歌を扱った授業実践における省察—「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」を繋ぐ指導を目指して—(鎌倉大和)  
「考えの形成」を主眼とする説明的文章指導の実践と分析—文章を読み深めながら自分の考えをより確かにする生徒の姿を目指して—(坂口香織)  
語彙習得材としてのデジタル RPG の可能性—関連各分野の先行研究のレビューを通して—(谷川勇介)  
物語教材における挿絵の「表情」—小学校物語教材の挿絵の効果に関する一考察—(手塚千晶)

### 【研究ノート】

「月」への憧憬と抒情—「九月二十日のころ」(『徒然草』)の教材分析—(西一夫)  
伝統的工芸品「内山紙」の製造工程—「内山紙」をめぐる地元小学生との協働学習に関する基礎知識—(小林比出代)

### 【短信】

石井彬／小林達矢／龍野直人／馬場綾菜／福島陵／古旗明

平成 29 年度卒業論文題目・修士論文題目  
信州大学国語教育学会大会第 27 回大会報告  
信州大学国語教育学会会則  
『信大國語教育』投稿規定

## 第 29 号 : 2019 年 10 月

### 【特別寄稿】

私の mindset (土屋龍一郎)

### 【研究論文】

藤原斉信という男—『枕草子』日記的章段を通して—(朝日誠生)  
岡本太郎『沖縄文化論—忘れられた日本』論—「肌」に関する表現に注目して—(二俣圭)  
『HANDWRITING OF THE TWENTIETH CENTURY』から読み解くナショナルカリキュラム制定直前後のイギリスにおける Handwriting の教育の実情(小林比出代)  
国語の資質・能力を育む授業を目指して—「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力、人間性」の三つの柱から自己の実践を振り返る—(鎌倉大和)  
ポピュラー音楽に生きるキャラクター—ことばとキャラクタの結びつきから—(西澤萌希)  
「水書用筆」を用いた運筆指導に関する一考察(新井こず江)  
国語科において方言を扱うこと—言語文化学習材としての可能性と方向性—(佐藤美野里)

「国語教科書」はどのように自称するか—自称詞に着目した学習に関する一考察—(渡辺亨子)

#### 【研究ノート】

「東下り」の段落構成—教材化研究の一齣—(西一夫)

善光寺表参道商店街における看板調査—平成 30 年度信州大学教育学部学生書道展での研究発表報告—(小林比出代)

#### 【短信・OBOG】

細川恒／戸塚拓也／赤沼祐子／宮下健太／阿部佳南子

#### 【短信・学部生】

小山優太／唐沢真奈／篠遠早紀・佐藤源弥／林涼真

平成 30 年度卒業論文題目

信州大学国語教育学会大会第 28 回大会報告

信州大学国語教育学会会則

『信大国語教育』投稿規定

### 第 30 号：2021 年 3 月

#### 【巻頭言】

終刊並びに終焉の辞—教育活動の一層の活性化に向けて—(西一夫)

#### 【特集】

『信大国語教育』総目次

#### 【特別寄稿】

漢字教育のヒント—正しく、効果的に—(塚田勝郎)

市澤静山作品集—2007 年信州大学退官から現在まで—(市澤静山)

稲垣忠彦先生と信大国語教育学会(藤森裕治)

信大国語教育学会の休会に寄せて(山本亮介)

#### 【研究論文】

新美南吉「ごん狐」と『劇場版ごん』の往還的読解(友田義行)

『流れる星は生きている』教材化の可能性—高校生の平和学習と主権者教育への足がかり—(小長谷祥治)

旅情—『伊勢物語』「東下り」の教材化・導論—(西一夫・澤田浩文・戸塚拓也)

乙—『暗いところで待ち合わせ』論—呼びかける私たち—(柄澤有紀)

基礎研究に基づいた教材分析試論—「叙述類型論」に基づきながら—(岩男考哲)

中学校国語科における「品詞」の扱い(松崎史周)

モーフィングソフトを使った「偏」「冠」の汎用的理解—「左右」「上下」から成る文字の組み立て方に関する ICT を用いた書写教材例—(小林比出代)

中学校国語教科書から見た助動詞と文章ジャンル—小規模コーパスを活用した文法用例集作成の構想と検証—(杉山俊一郎)

外国人相談員に必要な資質・能力を高める研修モデルの構築(徳井厚子)

幼稚園の領域「言葉」における幼小接続のあり方に関する一考察—「言葉遊び」を介して—(八木雄一郎)

毛筆学習が左利き者の硬筆書字に与える効果—カーボン紙を用いた筆圧と字形の調査を通して—(市ノ瀬有香)

漫才で国語科の資質・能力を育む—「助詞間違いことわざ漫才」の開発—(上條示雄)

国語科で涵養すべき「コミュニケーションリテラシー」への一視座—高校国語教科書における「日本のコミュニケーション」像— (栗原賢)

**【研究ノート】**

比田井天来揮毫「淺岡先生頌徳碑」の採拓—信州大学創立 70 周年・旧制松本高等学校 100 周年記念事業報告— (小林比出代)

**【短信・OBOG】**

大杉愛美／小野優／小山優太／宮島卓朗

**【短信・学部生】**

高橋由輝／林涼真／三浦のの香／加藤就

令和元年度卒業論文題目・修士論文題目

信州大学国語教育学会第 29 回大会報告

信州大学国語教育学会会則

『信大国語教育』投稿規定